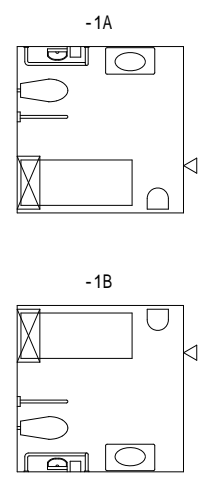
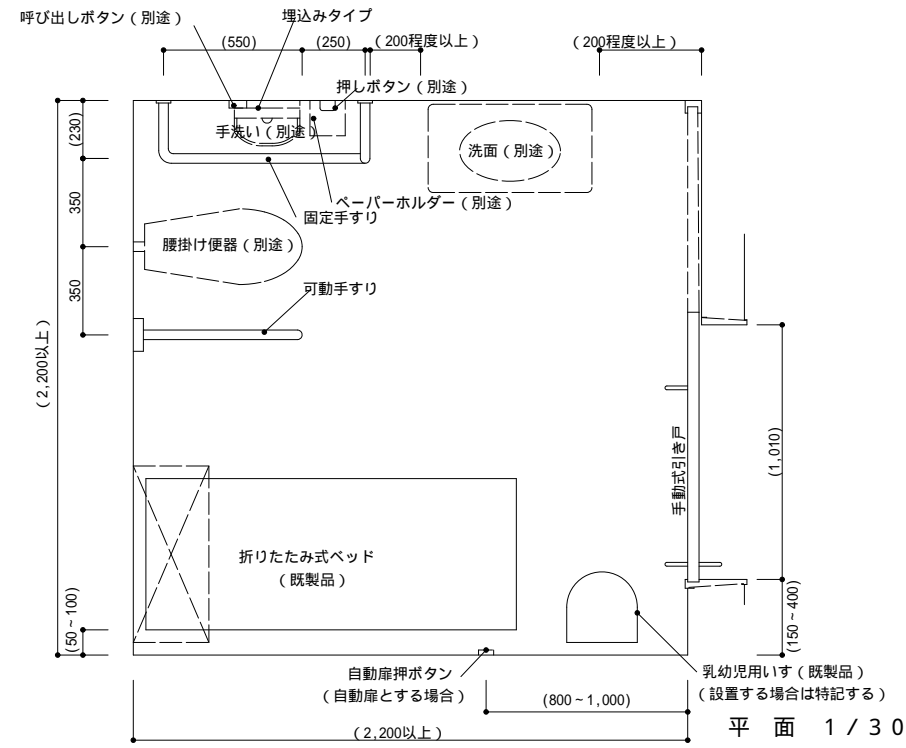
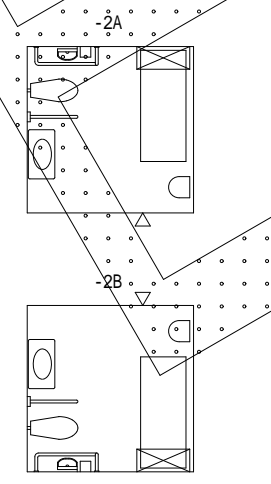
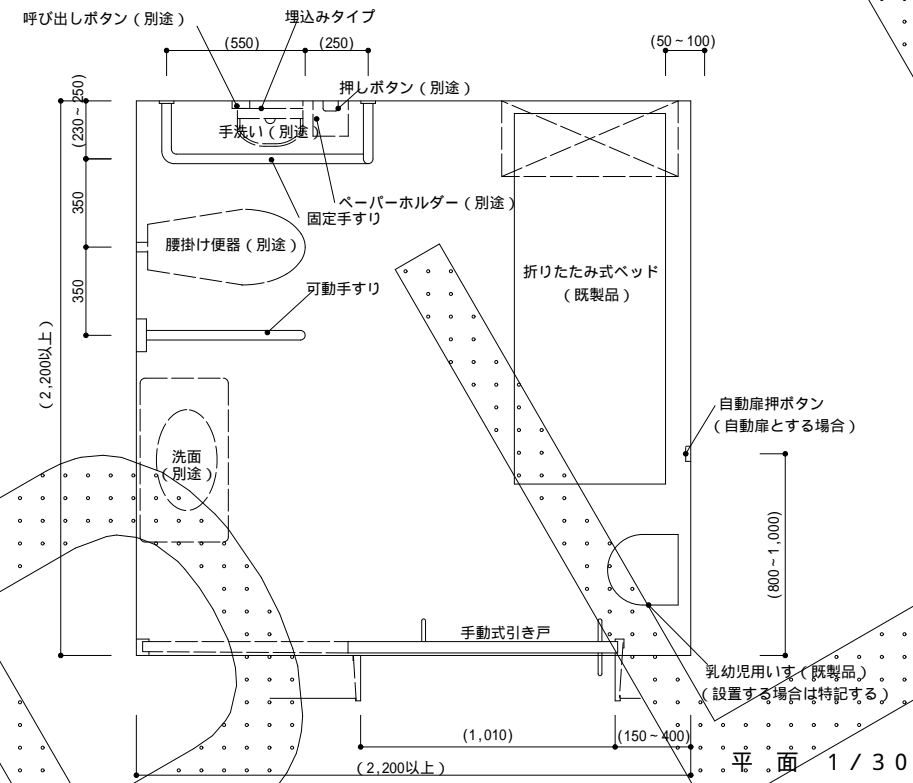


-1 多機能便所（ベッドを設置する場合）



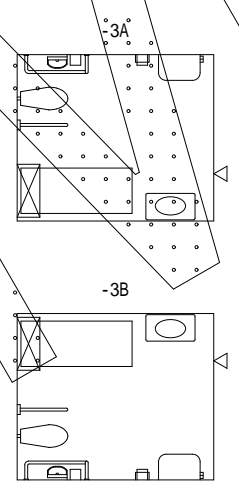
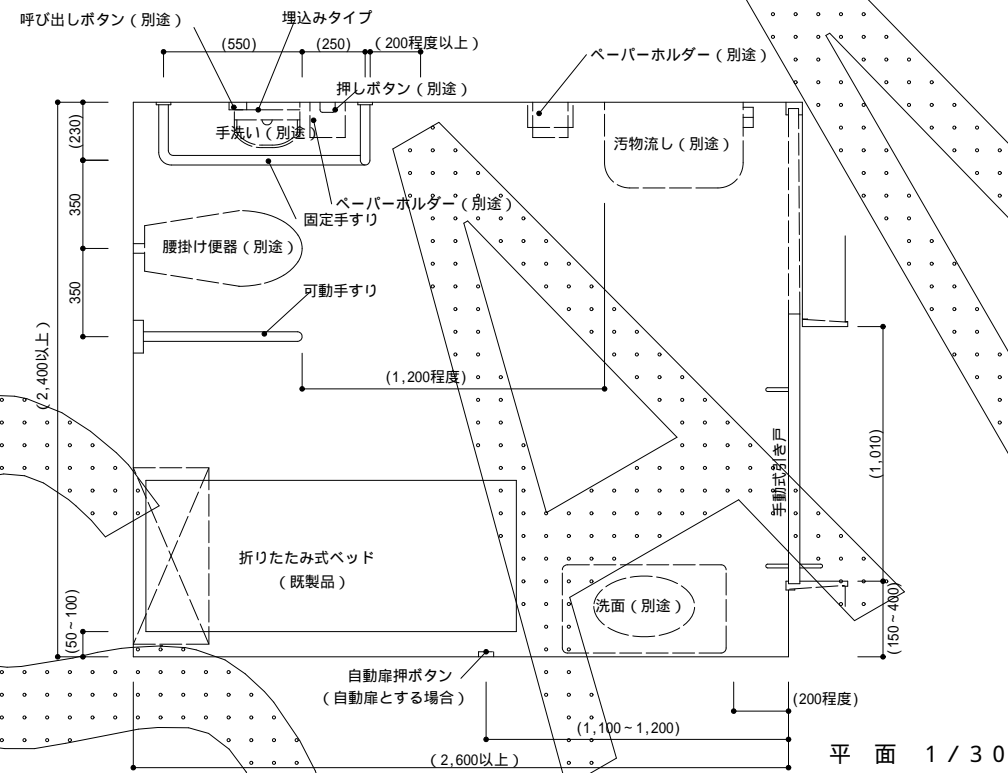
(配置例)

-2 多機能便所（ベッドを設置する場合）



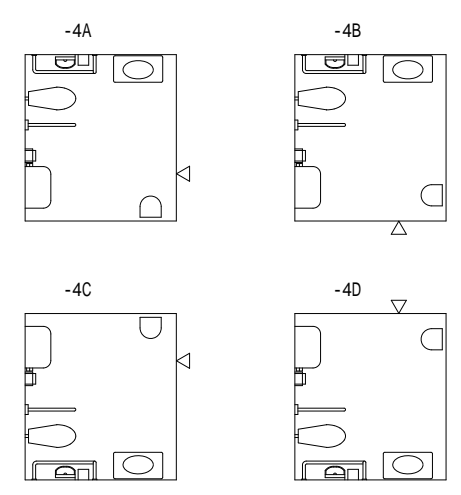
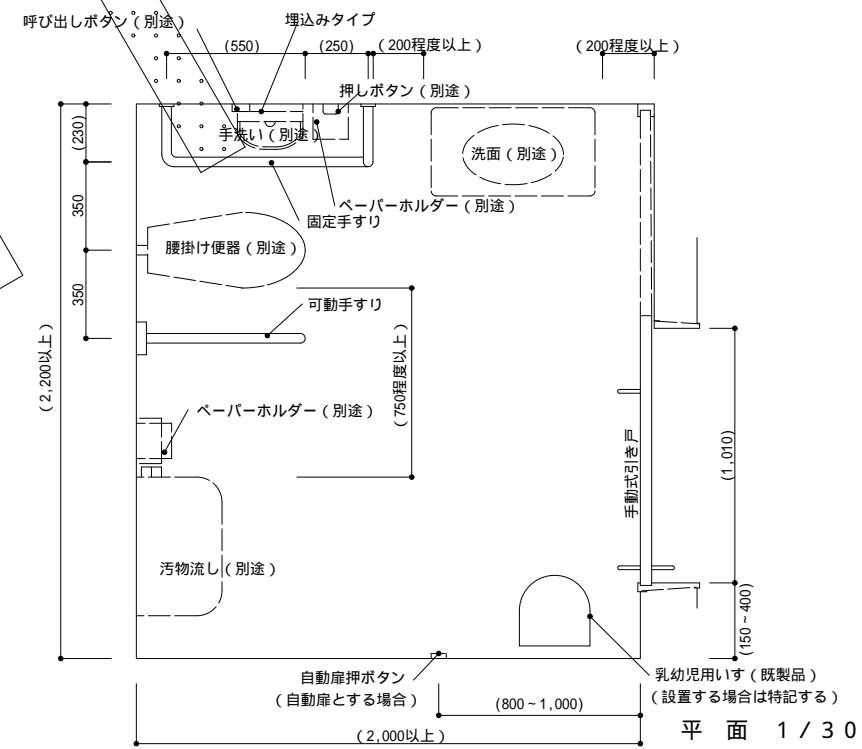
(配置例)

-3 多機能便所（ベッドおよび汚物流しを設置する場合）



(配置例)

-4 多機能便所（ベッドおよび汚物流しを設置する場合）



(配置例)

仕様

1) ペーパーホルダー、洗浄分の押しボタン及び呼び出しボタンは、固定手すりの位置を基準として配置する。

特記事項

1) ライニングの設置位置、高さ等
2) 洗面器の種別（J I S型又は薄型）
3) 荷物棚等の設置
4) 便器背もたれの設置
5) 折りたたみ式ベッドのサイズ
6) 乳幼児用いすの設置及び設置する場合はそのタイプ

設計注意事項

1) 折りたたみ式ベッドが開いた状態でも、車いす使用者が便所内に入れるよう、ベッド及び入り口を配置する。
2) 折りたたみ式ベッドは、ベッド上で身体を動かす際の支障とならないよう、また乳幼児がすき間から落下しないよう、壁からの離れを設定する。
3) 汚物流しの近くに、ライニングの活用・荷物棚の設置等により、荷物を置く場所を設ける。

4) 前方や側方からの便器の利用を考慮し、便器の前及び可動手すりの脇の寸法を確保する。
5) 多機能便所を複数設置する場合は、左右両方の使い勝手のもの、付加する機能の異なるものを設置することが望ましい。
6) 出入口付近に設置した物が通行の妨げにならないよう、袖壁の長さを設定する。
7) その他、6-24の設計注意事項による。

図面名称	便所：多機能便所 (ベッド、汚物流しを設置)	
縮尺	1/20, 1/30,	6-26
建築工事標準詳細図	平成17年版	